

今週（9月15日から9月19日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、前週に引き続き幅広い業態から資金調達ニーズが見られたことから、出合いの中心レートは0.475～0.478%程度で推移した。加重平均レートは、17日(水)に試し取りを実施する先が見られたことから、0.478%となったものの、それを除けば18日(木)までは0.477%での推移となった。19日(金)も特段大きな変化は見られず、出合い水準は引き続き横ばい圏での推移となった。

ターム物は、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズがやや弱いなか、1W～3M物を中心に引き合いが見られた。期間が長い物に関してはロール案件が中心となったが、ショートターム物では、保険業態による運用も散見された。

日銀当座預金残高は、498兆円台でスタートした。今週は大きな変動要因が少なく、その後も概ね横ばい圏での推移となった。

また、18日(木)～19日(金)に開催された日銀金融政策決定会合では、金融市場調節方針は維持されたものの、日本銀行が保有するETF及びJ-REITについて、市場に攪乱的な影響を与えることを回避する等の基本方針を踏まえ、「金融機関から買入れた株式」の売却と同程度の規模で、市場への売却を行うことを決定した。

●債券レボ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、0.485～0.505%近辺で推移した。

SCは、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンが概ね横ばい圏で推移した。

17日(水)に実施された1Y物入札は、無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでは、小じっかりで推移した。

18日(木)に実施された3M物入札は、小甘い結果となり、結果発表後のセカンダリーでは、特段の出合いは見られなかった。

●CP市場

今週のCP市場は、不動産、鉱業、ガスなどの業態で大型発行が見られた。

市場残高については、9月初旬に25.8兆程度まで達していたが上期末要因を控え、その後は緩やかな減少傾向となるなか、今週は、24兆台後半で安定的に推移した。

発行レートについては、日銀適格銘柄の1M程度で0.5%台前半、3Mで0.6%台前半～半ばでの発行が散見された。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
9/15 (月)						
9/16 (火)	44,902.27	1.605	147.40	0.477	0.495	4,988,600
9/17 (水)	44,790.38	1.590	146.50	0.478	0.494	4,986,000
9/18 (木)	45,303.43	1.595	146.90	0.477	0.491	4,984,600
9/19 (金)	45,045.81	1.640	147.95	0.477	0.493	4,985,600

来週（9月22日から9月26日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
9/22 (月)				
9/23 (火)	秋分の日			8月の米中古住宅販売件数
9/24 (水)	7月のサービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)			8月の米新築一戸建て販売件数
9/25 (木)	金融政策決定会合議事要旨(7月30,31日分 8:50) 8月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	40Y 9/26発行 4,000億円		4-6月期の米GDP確報値 8月の米耐久財新規受注
9/26 (金)	9月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TDB 3M 9/29発行 43,000億円		8月の米個人所得・消費支出(PCE)

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/22 (月) 日銀予想	100	54,600	54,700	C P等買入 社債買入 国債補完	▲ 100 ▲ 100 1,200		1,000	55,700	国債の大量償還・利払い TDB3M発行▲43,000償還44,000 TDB1Y発行▲32,000償還32,000 5Y償還10,500 10Y償還7,200 20Y償還12,000 エネルギー対策借入▲6,600期日6,400
9/23 (火) 弊社予想			0				0	0	
9/24 (水) 弊社予想	▲ 500	▲ 3,000	▲ 3,500				0	▲ 3,500	
9/25 (木) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 3,000	▲ 4,000				0	▲ 4,000	
9/26 (金) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 12,000	▲ 13,000				0	▲ 13,000	財政融資資金の回収 40Y発行▲4,000
週 間 合 計	▲ 2,400	36,600	34,200	—	1,000	0	1,000	35,200	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC O/N物は、レートは0.49%前後の水準で推移することが予想される。短国市場は、26日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、月末発行が予定されており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、25日(木)に金融政策決定会合議事要旨(7月30,31日分)、26日(金)に9月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省)、海外では、23日(火)に8月の米中古住宅販売件数、24日(水)に8月の米新築一戸建て販売件数、25日(木)に4-6月期の米GDP確報値、26日(金)に8月の米個人所得・消費支出(PCE)などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入